

学習指導要領	田園調布高校 学カスタンダード
(1) 原始・古代の日本と東アジア 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について考察させる。	〔歴史資料の特性〕 遺跡や遺物、文書など様々なに着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する。 〔文化財保護〕 歴史への関心を高め、文化財保護の重要性に気付かせる。 〔日本文化の黎明〕 旧石器文化、縄文文化、弥生文化の特色を理解し、小集団による集落の形成から小国が分立していく過程について、史料を用いて考察する。 〔古墳文化とヤマト政権〕 古墳の出現から古墳文化の変遷について理解し、小国の分立から小国からヤマト政権への形成過程を東アジア諸国の史料も用いて考察する。 〔古代国家の形成〕 我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程について、飛鳥文化・白鳳文化とともに理解し、中国との関係に着目して考察する。 〔古代国家の展開〕 律令体制の確立および鎮護国家の政策について、天平文化の特色を理解するとともに、古代国家の展開について考察する。 〔国際関係の変化〕 東アジア世界の国々の情勢とともに、日本の外交のあり方にも変化が見られることを理解し、その上で文化の国風化について考察する。 〔古代国家の推移〕 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について

	学習指導要領	田園調布高校 学カスタンダード
(2) 中世の日本と東アジア	中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。	て考察させる。
	ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。	〔歴史の解釈〕 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。
	イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔中世国家の形成〕 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。
	ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔中世社会の展開〕 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。
(3) 近世の日本と世界	近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。	
	ア 歴史の説明 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。	〔歴史の説明〕 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。
	イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。	〔近世国家の形成〕 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。
	ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山	〔産業経済の発展と幕藩体制の変容〕 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、

	学習指導要領	田園調布高校 学カスタンダード
(4) 近代 日本の 形成 と 世界	漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。	町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。 〔開国と幕府の滅亡〕 ・ペリー来航までの背景と、幕府が日米和親条約を調印し鎖国政策から転換したことの経緯を理解する。 ・通商条約調印のまでの経過を理解するとともに、当時の貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響について理解する。 ・尊王攘夷派と公武合体派との対立の原因やそれぞれの主導勢力について理解する。 ・大政奉還が出されたあと、それに対抗する動きを理解する ・教派神道を含め当時の民衆の動きについて理解する。 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 ・五箇条の誓文と五榜の掲示の内容とその目的について理解する。 ・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正など、新政府の改革について、資料を用いながらその後の展開を意識しながら理解する。 ・殖産興業の内容について各分野・産業における中心人物も含めて理解する。 〔文明開化〕 ・文明開化が我が国の伝統的な文化と相対する動きを伴いつつ、人々に与えた影響について理解する。 〔明治初期の対外関係〕 ・日本の領土画定の経緯について、具体的な条約などを踏まえて理解する。 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 ・国民の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを理解する。

	学習指導要領	田園調布高校 学カスタンダード
両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界	イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。 ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。	・大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特色について、現行憲法と比較しながら理解する。 〔条約改正〕 ・条約改正を達成するまでの経緯について、世論の動きとも比較しながら、具体的な交渉の内容を理解する。 〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 ・日清戦争をめぐる国際情勢について理解する。 ・初の政党内閣の成立に対する政府・元老の具体的な対応と、その後の政治状況への影響を理解する。 ・日露戦争について、日清戦争と対比して戦争の規模、経過、国内の世論、国際的な動向などを理解する。 ・植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。 〔近代産業の発展〕 ・産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。 〔近代文化の特色〕 ・自然科学分野における主な業績について理解する。 ・代表的な啓蒙思想家について知る。 ・近代文学と明治美術界の代表的作家と作品について知る。
	(5) ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。	〔政党政治の発展〕 ・民衆の政治意識が高まり、一つの政治勢力にまで成長したことを理解する。 ・民衆は排外主義にとらわれず自らの生活を優先させ、日比谷焼打ち事件と比較して民衆意識が成長したことを理解する。 ・原内閣成立の背景と意義、その政策について理解する。 ・護憲三派内閣が普通選挙法とともに治安維持法を成立させた意味を理解する。 ・各運動に参加した国民各層にどのような政治・経

	学習指導要領	田園調布高校 学カスタンダード
	イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。 (6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。 ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係	済上の主張や要求があったのか理解する。 〔大衆社会の形成〕 ・都市化と工業化の進展で大衆社会が形成されたことについて、具体的な事例を挙げて理解する。 〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 ・第一次世界大戦への日本参戦の背景と二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを理解する。 ・ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制がとられる中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。 〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気の背景と国内経済・社会に生じた具体的な変化を理解する。 〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりなど、世界経済の動きを理解する。 ・全体主義の台頭による国際関係の変化や中国などにおける民族運動の進展を理解する。 ・どのように軍部が政治的に進出したかを理解する。 ・金融恐慌や昭和恐慌の背景と経緯及び影響について理解する。 ・具体的な対外政策の推移について理解する。 〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・中国との戦争が長期化した背景を理解する。 ・戦場となった地域や戦争相手国の動向を踏まえて、第二次世界大戦の背景やその経過を理解する。

学習指導要領		田園調布高校 学カスタンダード
世界	の推移について考察させる。 イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	